

障がい福祉版

「福祉車両」ってどんな車？

■申し込み・問い合わせ先 市障がい児者相談支援センター ☎(37)9970

福祉車両と呼ばれる車があることを知っていますか？ 車いすに乗ったまま乗り込めるタイプや、シートが動くことで乗り降りが簡単になるタイプ、身体に障がいがある方が運転するための装置がある車など、色々な種類があり、介助する・される方の必要に応じて選択されます。

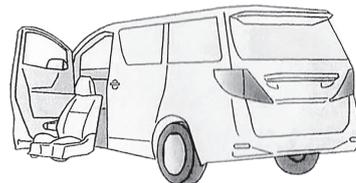
今回は、福祉車両の種類やその使い分けについて、簡単にご紹介します。

どんな種類があるの？

シートへの乗り降りを楽にする

助手席または後部座席が回転します。障がいや加齢、けがなどにより、車の乗り降りが容易ではない方、車いすで移動する方が主に使用します。

また「スライドアップシート」と呼ばれる、回転した後にシートが乗降するタイプもあります。乗り降りがさらに快適にできるだけだけでなく、車高が高いミニバンなども選ぶことができます。



車いすのまま車両に乗り降りする

《リフトタイプ》

車両後部に装備されたリフトで、車いすやストレッチャーのまま乗り降りができます。介助者もリモコン操作で昇降できるため、介助者の身体への負担軽減にもつながります。

最近では軽自動車や普通車にリフトが搭載されているものも多くあり、普段使いしやすくなっています。

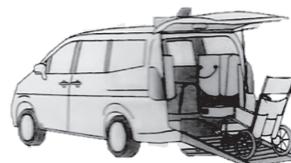


《スロープタイプ》

スロープを使い、車いすのまま車内への乗り降りができます。スロープの操作は手動か電動です。

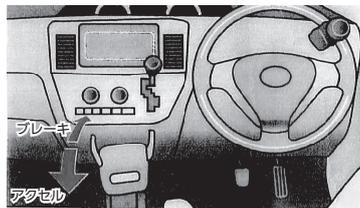
地面にスロープが完全に接地するため、車いすのままの乗降もぐらつきにくく、安定感があります。

スロープタイプ、リフトタイプ共に車内で車いすをベルトで固定することができ、さらにシートベルトをするため、走行中も安心です。



運転操作を補助する

身体に障がいのある方が運転できるように、操作を補助する設備です。運転する方の状態に合わせて、手や足が不自由な方でもアクセルやブレーキ、ハンドル操作を行うための補助装置が取り付けられています。製作時に純正メーカーが取り付けしたものや、一般車に後付けで装備したものもあります。



手でブレーキとアクセルを操作する装置

両足に障がいがある、足でペダル操作ができない場合は「手動式」「手動装置」等と呼ばれている、手でペダル操作ができる補助装置を取り付けます。

車両への乗り降りをサポートする

段差を解消する後付けの折り畳み階段や、手すりやグリップなど、その方に合わせたものを取り付けることで、安全に乗り降りすることができます。



折り畳み式階段

車高の高い車の乗り降りを安全にするために、手動や電動で開閉できる階段を取り付けることができます。

「おもいやり駐車スペースつぎつぎ事業」にご協力をお願いします

回転シートで自動車の乗り降りをしたり、車いすで自動車の乗り降りをするには、ドアを全開にしたり、スロープを引き出したりするための広いスペースが必要とされます。そのため、スーパーや病院などの施設には、障がい者、難病患者、お年寄り、妊産婦など、外出に配慮が必要な方のための、広い駐車スペースが設けられています。

栃木県では、障がい等のある方がスムーズに駐車スペースを利用いただけるように、県内共通の利用証を交付しています。社会福祉課で交付していますので、ご希望の方はご相談ください。

「お店の出入口に近いから」、「ちょっとくらいならいいだろう」という軽い気持ちで駐車してしまうと、車いすユーザー等、駐車スペースを必要としている人が困ってしまいます。「必要としている人が必要としているときに」安心して利用できるよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

